

子育てみんなで楽しんでま～す

子育てサークル Boo Hoo Uoo のバターブクリ
(11月24日：開発センター1階和室)



広報

あさひまち

2004年12月
No. 577

特集／鈴木新町長がめざす町づくりインタビュー

町政スポット／町長選挙及び町議会議員補欠選挙 秋の叙勲

朝日町産りんご「台湾」に向けて初出荷 ほか

まちの話題／宮宿小学校創立130周年記念式典

朝日町町制施行50周年記念事業「第25回朝日町産業祭り」 ほか



職員に迎えられ初登庁する 鈴木町長（12月8日）

特集○鈴木新町長がめざす町づくりインタビュー

「人口1万人復活構想」で 町民のみなさんの“幸せの実現”

第6代朝日町長に鈴木浩幸氏(44)就任

任期満了に伴う朝日町長選挙は十一月二十一日に投票が行われ、即日開票された結果、鈴木浩幸氏（大町・44）が初当選を果たし、歴代最年少の町長が誕生しました。

昭和二十九年の町村合併から五十年という節目を迎える年の町長選挙。今回の特集では、今回の厳しい選挙を勝ち抜き十二月八日に就任された鈴木新町長に、町広報委員の清野千春さん（古樽）が単独インタビュー。第六代鈴木町長がめざす町づくりについて聞きます。

少子化対策への積極的な取り組みと

町民のやる気と情熱を活かす町づくり

■清野 当選おめでとうござい

ます。

まず最初に、選挙戦を終えてのご感想をお聞かせください。

■町長 非常に厳しい選挙戦でした。町民のみなさんの期待が大きいことを改めて実感しています。その期待に全力を傾けて応えられるよう頑張っていきたく思います。

■清野 町が抱えている解決すべき当面の課題を、町長はどうお考えですか。

■町長 厳しい財政状況をどのように立て直すかが一つ挙げられます。まずは「行財政改革」を強力に進めていく必要があり

いかにして人口減少に歯止めをかけていくかが、これらの町政の焦点となるようですね。選挙公約にも「人口一人復活構想」を大きく掲げてらっしゃいますが、その具体策についてお聞かせください。



■鈴木浩幸 新町長（大町）

油絵と映画観賞が趣味。中学1年から小学2年までの4人の子どもを持つ44歳の父親である。平成11年5月、町議会議員初当選。



■清野千春さん（古檍）

町の広報委員を務めて3年目。大学を卒業後、家業の農業に従事。現在は1児の母として子育ての真っ最中。近々家族がもう一人。

二つ目に、人口の流出を食い止めるための対策として、雇用の場の確保が挙げられます。それには「企業誘致」がたいへん有効なことですので、「これはできないこと」ではなく「やらなければならないこと」という姿勢で取り組んでいきます。誘致方法としては、町外におられる町出身の方々によるネットワークを早急に構築させ、町の方からも情報を発信していくとともに、町外からの情報にいち早く対応できるような仕組みをつくっていきます。このネットワークは企業誘致だけでなく、人口誘致、農作物や商品の販路拡大ができるものと思います。

また、働く場の確保として「起業」への積極的なバックアップを図っています。昔ながら

とは言え、避けては通れない社会問題と捉えて、ある程度行政が関与していくことも必要なことと考えます。

二つ目に、人口の流出を食い止めるための対策として、雇用の場の確保が挙げられます。それには「企業誘致」がたいへん有効なことですので、「これはできないこと」ではなく「やらなければならないこと」という姿勢で取り組んでいきます。誘致方法としては、町外におられる町出身の方々によるネットワー

クを早急に構築させ、町の方からも情報を発信していくとともに、町外からの情報にいち早く対応できるような仕組みをつくっていきます。このネットワークは企業誘致だけでなく、人口誘致、農作物や商品の販路拡大ができるものと思います。

■清野 町の繁栄には、町民一人ひとりのやる気と情熱が欠かせないということですが、鈴木町長の町民主役の町づくりの姿勢が伝わってきます。さて、「子育てしやすい環境づくり」についても明言しているよう

■清野 具体策の三つ目、「人口一万人復活構想」の実現には、まずもって「子育てしやすい環境づくり」です。子どもを安心して産んでいただけるような環境をつくっていかなければなりません。みなさんが最も心配なのは、子どもの健康に関するこ

■清野 ところでの、保育園の統合の話しもありますが…。■清野 現時点では、統合に関する合意が町民のみなさんから得られていないと思います。この問題については、保育園児の

■町長 一つ目に、町内には未

婚の方が多くいるようです。そういう方々から一組でも多く結婚していただくための環境づくりを進めていくことが必要です。役場内に「結婚特別対策室」を設置し対応していきます。個人のプライバシーに関わること

とは言え、避けては通れない社会問題と捉えて、ある程度行政が関与していくことも必要なことと考えます。

二つ目に、人口の流出を食い止めるための対策として、雇用の場の確保が挙げられます。それには「企業誘致」がたいへん有効なことですので、「これはできないこと」ではなく「やらなければならないこと」という姿勢で取り組んでいきます。誘致方法としては、町外におられる町出身の方々によるネットワー

クを早急に構築させ、町の方からも情報を発信していくとともに、町外からの情報にいち早く対応できるような仕組みをつくっていきます。このネットワークは企業誘致だけでなく、人口誘致、農作物や商品の販路拡大ができるものと思います。

■清野 町の繁栄には、町民一人ひとりのやる気と情熱が欠かせないということですが、鈴木町長の町民主役の町づくりの姿勢が伝わってきます。さて、「子育てしやすい環境づくり」についても明言しているよう

■清野 具体策の三つ目、「人口一万人復活構想」の実現には、まずもって「子育てしやすい環境づくり」です。子どもを安心して産んでいただけるような環境をつくっていかなければなりません。みなさんが最も心配なのは、子どもの健康に関するこ

■清野 ところでの、保育園の統合の話しもありますが…。

■清野 現時点では、統合に関する合意が町民のみなさんから得られていないと思います。この問題については、保育園児の

の知恵やアイデア、伝統など、この町ならではのものがたくさんあるわけですから、これらを特産物化、付加価値を追求した製品にしたいと考えている人がいれば、町としても一緒にになって取り組めるような体制をつくります。

しかし、あくまで主体は町民。一人ひとりのやる気と情熱で、それを町がサポートしていく体制で進めていくことが重要です。

町内における働く場の確保と合わせて、現に寒河江や山形など近隣市町に勤務する方も多くいますので、当該市町との連携強化を進めていくことも重要なことです。新しい明鏡橋の完成で、寒河江方面へのアクセスはより便利になりますが、山形市との連携強化をこれまで以上に進めていきます。玉虫湖方面から行く道路、さらに将来的にはより有効な山形へのアクセス整備を山形市や山辺町、そして県に対しても強く働きかけていく考えです。

■清野 人口一万人復活構想の実現には、まずもって「子育てしやすい環境づくり」です。子どもを安心して産んでいただけるような環境をつくっていかなければなりません。みなさんが最も心配なのは、子どもの健康に関するこ

■清野 これが同じ目線で取り組んでいきることが必要と考えます。

■清野 まず、「六歳児までの乳幼児



乳幼児の健やかな成長はみんなの願い

お父さんお母さんだけの問題でなく、これから関わってくる将来のお父さんお母さん、そしておじいちゃんおばあちゃん、それに町民のみなさんの合意形成が最低条件と考えます。当面の間は、この三保育園の体制でいく考えです。

また、子どもの教育に関していくかということを考えています。県の指定を受け昨年度から二年間にわたり宮宿小学校で実施された「学力向上フロンティア事業」。目に見える形で成果

（子どもたちの成績）が上がっているという実績があるので、これを町内の全ての小中学校で実施できないものかと考えています。子どもは次代を担う朝日町の大切な宝です。学力だけでなくスポーツの面に関しても同様で、やる気と挑戦する意欲を持った子どもたちを育てていけばと思います。

■**清野** 女性の声を活かした町づくりについては、具体的には



公開授業での学力向上フロンティア事業の実践（10月7日）



いつの時代も学習意欲旺盛な朝日町の女性たち この声を町づくりに（12月5日／第25回女性まつりより）

■心も生活も豊かになる町づくりを進めてほしいです。

（70代男性・大谷六）

■朝日町と言えばこれ！というものがいのでは。それをはっきりさせ、もっとこれにこだわりのある町づくりを期待します。

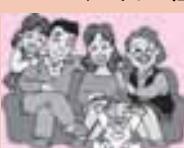
（20代女性・沼向）

■りんご産業を中心とした農業の活性化も大切なことですが、グリーンツーリズムや農作物直売所の設置など、プラスαの面に力を入れていく必要があると思います。農業の観光化に期待します。子を持つ親としての要望ですが、山形市や寒河江市までの町営バスの運行をしてはいただけないものでしょうか。

（40代男性・送橋）

■この町にとって、真に何がプラスになるのかを真剣に考えてほし

いです。今までこうだったという固執した考えを捨てて、新しいことにもぜひ挑戦してほしいと思います。今あるものを大切にしその価値を見出することで、新たな挑戦が生まれてくるもの。目に見える形で何か変わっていくことを期待します。



■自立の道を選択した以上、確固たる改革が必要だと思います。仕事の内容などを再検討し、議員定数や町職員数は減らしていくべき。また、土日を返上しても町民に応えられるような行政でなければ、この町をこのまま維持していくことは難しいと思います。町民の声

をもっと親身になって聞いてくれる姿勢を見せてほしいです。

（60代男性・送橋）

■補助金や助成金をあてにしているわけではありませんが、同じ事業に対する補助金や助成金について、他の町村との間に格差があるのは何故なんでしょうか。隣町では補助金や助成金があるのに朝日町では全くないというのは納得いかない場面がよくあります。町の財政が厳しいことは十分理解していますが、もっと相談にのってくれる姿勢がほしいです。

（40代男性・水本）

■何かと言えば寒河江市などの近隣市町に行かなければならぬのが実際のところ。若者たちがもっと交流を持てる機会を増やしてほしいです。

（30代女性・宿）

特集○鈴木新町長がめざす町づくりインタビュー

「人口1万人復活構想」で 町民のみなさんの“幸せの実現”

できるような流れをつくっています。

■清野 地域健康推進員の配置についてはいかがですか。

■町長 具体策の五つ目として、各地区にコミュニティリーダーとしての地域健康推進員を配置させたい考えです。県内でも二番目に高齢者の割合が高い朝日町は、老人医療費も年々上昇し

ています。しかし、高齢者率が高くても老人医療費を低く抑えている自治体が全国には存在します。高齢者の健康状態に常に配慮した声かけを行うことで、それを実現していくようです。朝日町もこれを手本にした施策が講じられないと考えていました。

産業の振興は「朝日町ブランド」の確立から 素材は「朝日連峰」と「エコミュージアム」

■清野 さて、活力ある町づくりに不可欠なこととして、町の産業振興策についてお伺いします。まずは、町の基幹産業である農業政策について、どのようにお考えですか。

■町長 農業所得の向上に向けて、「天狗印のりんご」という一つの大きなブランドをもつと宣伝していくと同時に、今後の生産者のみなさんのあり方を、現在、近い将来、そして遠い将来にどのような生産体制が確立されるのかということを研究していく中で考えています。

消費者は「安全で安心」な物を求めています。「朝日町で生産される農作物は安全で安心」という朝日町ブランドの確立で

す。「朝日町産」と店頭で表示されただけで「これを買いたい」と思っていただけのようだ。具体的には、循環型農業の普及を考えています。堆肥センターの試運転も始まっていますが、その堆肥を使つた生産体制の実現。そして、より低農薬での生産方法が考へられないか。農協、生産者、町が一丸となつて農業所得の向上が図られるような政策を開拓していきます。

■清野 成功している農家や

○×ファームなんかで観光農園をしているところは、やはりこの循環型農業を行っているようです。これらの生産体

あなたは、新しい町政に何を期待していますか？（有権者に聞きました）

■若者がこの町に寄りつかないのは、この町に魅力がないからだと思います。産業再生の活性化と、若者が定住し子どもの数が増えるような魅力ある町づくりに期待します。（50代男性・沼向）

■子育てしやすい環境が他町村に比べ遅れているのではないかと思う。子どもたちが雨の日でも室内で遊べる施設環境を整えてほしいです。病院には小児科が設置されれば…。（20代女性・大町）

■まだ小さい子がいるので、これからずっと安心して暮らせるような町づくりに期待します。（30代男性・栄町）

■自立の道を選んだ町。行政サー

ビスが末端まで行き届くことを期待します。（70代女性・大谷六）

■少子高齢化が進む中で、まずもつて町の活性化には若者の定着が必要と考えます。働く場があれば、その場で結ばれる人もいるだろうし、出生者数の増加にもつながると思います。（70代女性・西町）

■商店街の活性化策に大きな期待を寄せています。農業と商業が両立する町づくりを。若い人たちがこの町で頑張ろうと思えるような、魅力ある町づくりをお願いします。（40代男性・常盤）

■この町が好きだから、私は大学卒業後もこの町に帰ってきました。ダチョウやりんごなど、町外でも

朝日町のことをよく耳にすることがあります。その時「町のことを考えている人がたくさんいるんだなあ」と思います。みんなが協力すればすごく良くなる町だと思います。（20代女性・太郎一）

■山形方面への公共の交通機関がないのでたいへん不便です。息子や孫がいないとどこにも行けません。朝晩だけでもバスが走ると助かります。（80代女性・古檍）

■若い人たちが気軽に集まり会話できるような場、活躍できる場があればいいと思います。町外や県外にも朝日町の名前を売り出せるような町づくりに期待します。（20代男性・宿）

制の普及に向けて、町からも支援をお願いしたいと思います。

工業分野については、先に企業誘致を図るということを伺いましたが、観光産業を含めた商業についてはいかがお考えですか。

■町長 宮宿中心商店街の活性化について、最初に取り組まなければならないのは、都市計画のマスター・プランを早急に立ち上げ、町づくりとしてどういつ



朝日連峰を軸にした観光産業の育成

た方向性で進めていくかということを明確にする必要があります。その場合、その商店街の方が主導的になつて展開ができるかもしれませんと考へています。例えば、今回の豊龍の丘で実施している手法なんかを取り入れて、計画の段階から町民のみなさんと一緒にとなつて、政策展開できないものかと考えています。

観光産業については、統計上から見ても、観光で朝日町を訪れる手法なんかを取り入れて、計画の段階から町民のみなさんと一緒にとなつて、政策展開できないものかと考えています。

あると考へているのは、「朝日連峰」をいかにアピールしていくか。朝日連峰を軸にした周囲の観光産業の育成です。その他に、世界に一つしかない空気PR。ダチヨウに関しても、まだ発展途上の段階にあるうかと思いますので、企業努力と共に思っていますので、企業努力と共に町としてもどのような支援ができるか、積極的に関わっていきたいと考えています。

■清野 「朝日町ってそんなに知られていないのかな?」と思うことがよくあります。りんごでも観光でもっと「朝日町」というものをPRしていくことが必要なのかもしれませんね。

■町長 マスコミ関係機関に発信できる素材が常に存在するよう、元気ある観光の町につくり上げていきたいのです。また、これから観光政策は、「町づくりそのものが観光なんだ」というような視点で取り組んでいかないとダメだと思います。自分が行きたいと思わない所には、他の人だつて来てくれ

将来における責任ある政治姿勢と民間的手法を積極的に取り入れた行政運営

れる人の数は西村山一市四町の中で最も少ない(約三十万人)というのが現状です。これからは、他市町に負けないような政策展開をしていく必要がありまます。具体的には、私が最も有効であると考へているのは、「朝日連峰」をいかにアピールしていくか。朝日連峰を軸にした周囲の観光産業の育成です。その他に、世界に一つしかない空気PR。ダチヨウに関しても、まだ発展途上の段階にあるうかと思いますので、企業努力と共に思っていますので、企業努力と共に町としてもどのような支援ができるか、積極的に関わっていきたいと考えています。

その素材(考え方や思想などを含めて)となるもの、町民が誇りを持てるものが朝日町にはたくさんあると思います。それには何かと言えば「エコミュージアム」の考え方です。町づくりにこの考え方が提唱されてから約十五年が経過しますが、なかなか町民のみなさんが言葉で説明することは難しいのが現状です。

■清野 町長は市町村合併には反対論を唱えていますが、これからの財政的な見通しをどのように考へていますか。

■町長 非常に厳しい状況にある中で、どうにかやりくりができるのではないかと考えています。「行財政改革推進室」を設置し、この財政的課題にまず第

るわけがないし、自分が住みたいと思わない所には、誰からも住んでもらえない。自分が行つてみたいと思うような町づくりと研究していく価値のある分野であると思います。外部の人たちからすれば、そういったブランド的感覚の目で朝日町を見ているのではないでしょうか。こういった面からも朝日町ブランドが確立しつつあるのではないと思います。町づくりの基本理念にもなっている「エコミュージアム」の考え方は、これからも引き続き継続していく考え方ですが、もつと突っ込んで大々的にPRするくらいの、より具体的な政策展開をしていきたい考へです。

しかし、町外の方々にはこの考え方方に注目している人がたくさんいるんですね。もつともつと研究していく価値のある分野であると思います。外部の人たちからすれば、そういったブランド的感覚の目で朝日町を見ているのではないでしょうか。こういった面からも朝日町ブランドが確立しつつあるのではないと思います。町づくりの基本理念にもなっている「エコミュージアム」の考え方は、これからも引き続き継続していく考え方ですが、もつと突っ込んで大々的にPRするくらいの、より具体的な政策展開をしていきたい考へです。

特集○鈴木新町長がめざす町づくりインタビュー

「人口1万人復活構想」で 町民のみなさんの“幸せの実現”

加速化し、「今の朝日町という地域そのものがどうなってしまったのだろう」と不安になつてきます。将来の見通しもないといふことで合併するのではなく、ここをもう一度再生して、私たちの子どもや孫にしっかりと引き継いでいるこの土地、地域を築いていくことが先決であると考えます。

しかし、国の財政的な課題や地方でできることは地方でとう「地方分権の推進」という流れがあるので、その流れに対応していくのだろうかという「新たな展開の時」が来ようかと思います。その時になつて、お手上げの状態だから合併してくださいというような形だけは取りたくないません。いつ、いつかかる時に、どういう状態になると、胸を張つて対応できるような経済基盤、地域の基盤を確立していくことこそが、将来における責任ある政治の姿勢だと思います。ここに住んでいる人が自信を持つて「私たちの故郷だ！」と言えるような町をつくつていかなければなりません。

■**清野** 民間的手法を行財政運営にも活かしていくということですが。

■**町長** 町民のみなさんの目線に合った行政が、私の政策の基

本的な柱です。町民がどういうものを求めているか、何が問題で町民が困っているのかをきちんと捉える。企業経営でいう「マーケティングリサーチ（市場調査）」をしつかり実践していきたいと考えています。「町民は何を望んでいるのか」それを知る手段として、各地区を回る座談会を開催するというのは、これも企業経営でいう「現場主義」です。このような民間的手段を行政運営の中にも積極的に取り入れていきます。

■**清野** 町長室を役場庁舎一階に設置するということについては…。

■**町長** 町長室を一階に移すことで、開かれた町政を町民のみなさんにお示しすることができます。また、町民のみなさんとの意思疎通、コミュニケーションも図り易くなるだろうと思ひます。親しみの持てる行政を確立していくことを考えていました。

■**清野** 歴代町長の中でも一番若い町長。更に、行政経験者からではなく民間から誕生した町長でもあるわけで、町民のみなさんは行動力やスピード性のある町政運営を期待していることだと思いますが。

■**町長** そうですね。44歳とい

う若さを最大限に活かし頑張つていく所存です。
■**清野** 最後に町民のみなさん改めて期待の大きさや任務の重さを痛感しているところです。

■**町長** 多くの町民のみなさんが自信を持つて「私たちの故郷だ！」と言えるような町をつくつていかなければなりません。町民のみなさんとの「幸せの実現」が究極の目的。その目標として掲げている「人口1万人復活構想」。まずは人口の減少にいかにしたら歯止めを掛けられるか



終始なごやかな雰囲気で進んだインタビューの様子

町長選挙 及び 町議会議員補欠選挙



新町長に鈴木浩幸氏

任期満了に伴う朝日町長選挙は11月21日に投票が行われ、即日開票された結果、前町議会議員の鈴木浩幸氏（44）が二、九五七票余りを獲得し見事初当選を果しました。

今年六月の定例町議会で清野

隆前町長が勇退を表明。その後、いずれも新人で前町議会議員の鈴木浩幸氏（大町）、阿部為吉氏（常盤）、鈴木好一氏（八ツ沼）の三候補が早々と出馬の意向を明らかにしていました。

11月16日の告示日には予定通り三人が立候補し、三つ巴による五日間の激しい選挙戦を展開。

有権者に支持を訴えました。

投票率は八七・五二%と、今回と同様に三つ巴の争いとなつた前回（平成四年十一月）の選挙と比較し、七・八二ポイント低い結果となりました。

また、現職町議会議員三人の退任に伴う町議会議員の補欠選

挙も併せて告示されましたが、届け出たのは岡崎吉博氏（水本・56）、長岡啓治氏（常盤・56）、柴田喜久雄氏（助ノ巻・55）の三人だけで、無競争で当選が確定しました。



町議会議員補欠選挙は無競争で三人の新人が当選

町議会議員に新しく当選した三人は次の方々です。



岩田喜久雄氏
(助ノ巻 55歳)
農業



長岡啓治氏
(常盤 56歳)
農業



岡崎吉博氏
(水本 56歳)
農業

■開票結果

候補者名	所属	得票数
当 鈴木 浩幸 氏	無 新	2,957.374
次 阿部 為吉 氏	無 新	1,994
鈴木 好一 氏	無 新	1,424.625
無効投票数		56
按分切り捨て		0.001
投票総数		6,432

■投票結果

区分	男	女	計
当日有権者数	3,589	3,760	7,349
投票者数	3,142	3,290	6,432
棄権者数	447	470	917
投票率 (%)	87.55	87.50	87.52



四ノ沢
清野力二さん
(80歳)

清野さんは昭和三十四年から昭和五十四年までの五期（二十年間）、さらに昭和五十八年から平成十五年までの五期（二十年間）の通算十期（四十年間）の長きにわたり、町議会議員として地方自治の振興に貢献されました。その間、町議会においては副議長、総務建設常任委員長、産業経済常任委員長、朝日山麓開発

特別委員長、議会広報委員長等を歴任し、高邁な政治信念をもって町の産業、経済、教育、文化、福祉の向上に多大な貢献をされました。

さらに、昭和五十年五月から昭和五十四年四月まで、昭和五十八年五月から昭和六十年四月まで、平成七年五月から平成九年四月までの通算で十年間にわたり、西村山広域行政事務組合議会議員として尽力し、西村山地区の振興にも多大な貢献をされました。これらの功績が名実共に認められたものです。

旭日双光章（秋の叙勲）

清野さんは昭和三十四年から昭和五十四年までの五期（二十年間）

退任のあいさつ

ご支援・ご指導に感謝

前町長
清野 隆 氏
(四ノ沢・71歳)

S32 町役場奉職
S50 産業課長
町収入役 2年11ヶ月
町長 12年
H16.12.7 町長退任



昭和32年4月1日付で朝日町農業委員会に奉職以来、47年近くの長きにわたり、町民各位から温かいご支援とご指導をいただき、心から厚く御礼申し上げる次第であります。

私は、町長就任以来公約としてまいりました5本の柱、「福祉と健康の町づくり」「教育の振興」「若者定住と環境整備」「活力ある産業づくり」「町民との対話による町政」を中心に、住みよい町づくりに努力してまいりました。

老人福祉対策としてふれあい荘の建設、若者定住対策として住宅団地造成や子育て支援金の交付、教育振興策として小学校の統廃合と新校舎建設、生涯学習の中核となるエコミュージアムコアセンター「創遊館」の建設、住みよい生活環境整備としての合併処理浄化槽設置事業等、町民の皆様との二人三脚を基本とした町づくりを推進してきたつもりであります。

しかし、町の厳しい財政状況により残された課題も多く、今後の新町長の手腕、力量と町民各位の熱意と努力に期待するものであります。

最後に、朝日町の今後ますますのご発展と町民各位のご多幸を心よりお祈り申し上げ、退任のご挨拶とさせていただきます。長い間ほんとうにありがとうございました。



農林水産大臣から感謝状

統計の重要性を多くの国民に理解してもらう目的で制定された10月18日の「統計の日」を記念し、農林水産統計情報業務の推進に10年の長きにわたり協力された鈴木喜美夫さん（雪谷）に農林水産大臣から感謝状が贈られました。

11月9日に山形国際ホテル（山形市）で行われた伝達式に出席した鈴木さん。「どの部分に無駄があり、どの部分を改良すれば所得が上がるかという農業経営と、これまでの経営内容の経緯が分かってきました。そういう意味で、自分にとってはプラスの面が多かつたかな。これからもずっと協力をさせていただきたいと思います」と喜びを語ってくれました。



退任式を終え職員に見送られる清野前町長

世界に羽ばたく第一歩 日本一の朝日町産りんご 大市場「台湾」へ向けた輸出がいよいよ始まる



1971年、日本ではじめて無袋栽培技術体系を確立した結果、日本一の蜜入り無袋ふじが誕生したここ朝日町。この究極の味を台湾のみなさんにもご賞味いただこうと、このたび初の海外出荷となった朝日町産りんごの台湾輸出発式が11月23日、朝日果実流通センターで行われました。

今回積荷されたのは、町特産の「無袋ふじ」14トンで、トラックの出発を前に初出荷を祝う記念のテープカットが清野町長ほか8人により行われました。

りんごの消費量が増加傾向にある台湾では、市場に出回る量の9割に当たる12万トンを輸入しており、正にりんごの一大消費市場。近年、国内の消費量が落ち込んでいることから、

新規市場の開拓と生産農家の所得向上を目的に、今年5月から青森県八戸市の商社を介して台湾輸出の検討を進めてきたものです。8月の朝日町果樹組合連絡会議（井澤壽一会長）において、全会一致で輸出を決定。10月には台湾からの輸入バイヤー2人が来町し、朝日町産りんごを視察していました。

出発式には町や農協、県の関係者と生産者ら約30人が出席。りんごを積んだ10ントントラック2台を拍手で送り出しました。今回出発したりんごは、11月26日には船積みされて東京湾を出港、12月1日には台湾に到着したことです。

今後、現地の反応次第で、追加輸出を進めることにしています。



オペレータ 19人の除雪隊OPに辞令交付

今年度除雪計画の総延長は国県道を含めて231.8km。その内、町が除雪を行う町道分は170.4kmに及びます。除雪ドーザ13台、小型ロータリー除雪車4台、大型ロータリー1台、グレーダ1台、計19台の除雪機械の他、融雪剤散布車1台、パトロール車1台を総動員し、冬期交通網の確保のため、午前3時30分に出動できる体制を整えます。

師走に入った12月2日、今年も雪道の安全確保を図るべく、昨年より1人多い19人の除雪オペレータに辞

令が交付されました。辞令を受け取った除雪隊員らは、除雪基地前に並べられた重機に向かって、作業の無事を祈願していました。除雪隊員は次の方々です。

佐藤隆夫（新宿）、渡邊勝男（元町）、小林幸雄（大沼）、鈴木義昭（大暮山）、佐久間貢一（栗木沢）、大竹史之（大隅）、志藤清市郎（川通）、鈴木長兵衛（真中）、白田和寛（栗木沢）、小野幸浩（大谷三）、奈良崎武志（大滝）、伊藤強（山辺町）、布施雅晴（助ノ巻）、鈴木初雄（松程）、鈴木進（雪谷）、佐藤正樹（平）、伊藤五三雄（能中）、松本浩司（常盤）、鈴木穰治（助ノ巻）

朝日町民生委員・主任児童委員を紹介します。 (任期：平成16年12月1日～平成19年11月30日)

【中部地区】

長岡藤太郎（本町・担当地区＝本町）、鈴木たか（西町・同西町）、菊地邦子（栄町・同栄町）、鈴木美和子（助ノ巻・同助ノ巻、雪谷）、松尾みさ子（大町・同大町、緑町）、阿部くに子（大町・同大町）、渡邊滝子（元町・同元町、西原）、倉澤美津子（前田沢・同前田沢、新宿）、長岡満智子（四ノ沢・同四ノ沢）、後藤治三郎（宿・同小原、宿）、菊地治夫（沼向・同沼向、大隅、平）、渡邊節子（送橋・同古檜、送橋）、岡崎勝子（下芦沢・同下芦沢）、岡崎孝（水本・同水本）、藤沢盛治（杉山・同杉山、松原）、細谷清一（宇津野・同宇津野、大滝）

【西部地区】

阿部健一（常盤・担当地区＝常盤）、齊藤キヌ子（夏草・同夏草、長沼）、海野千代子（西船渡・同西船渡）、登坂ひかる（八ツ沼・同八ツ沼、高田）、鈴木たか子（能中・同能中）、長岡たつ子（太郎二・同太郎一、太郎二）、長岡洋子（太郎三・同太郎三、石須部）、阿部みねよ（立木・同白倉、立木）、阿部富美男（松程・同松程）、阿部功一（今平・同大舟木、今平）

【北部地区】

畠俊美（大谷二・担当地区＝大谷一、大谷二）、白田美智子（大谷四・同大谷三、大谷四）、川村良一（大谷五・同大谷五）、保利勲（大谷六・同大谷六）、堀健吾（中沢・同大谷七、中沢）、堀康子（舟渡・同真中、舟渡）、志藤寛治（栗木沢・同栗木沢、川通）、鈴木功助（大暮山・同大暮山）、小林たみゑ（大沼・同大沼）

【主任児童委員】

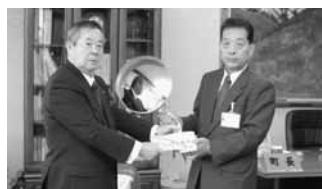
峯田今子（大町・和合小学校区、大谷小学校区、朝日中学校、さゆり保育園、わかば保育園担当）、小林秀子（西町・西五百川小学校区、宮宿小学校区、朝日中学校、さゆり保育園、ふたば保育園担当）

敬称略

カーブミラーをいただきました

J A さがえ西村山（今田正夫代表理事組合長）から11月10日、町に対し今年も、カーブミラー4基をいただきました。

交通上危険な箇所を交通安全協会朝日町連合会（藤原光雄会長）と協議し、要所に設置していく予定です。



人事異動(12月1日付)

■企画課 課長補佐兼地域情報係長 清野雅英（主査兼地域情報係長）



第24回朝日町りんご品評会

第24回朝日町りんご品評会が11月13日創遊館で行われ、川口好子さん（大暮山）のりんごが最優秀賞に輝きました。

町内の各農家が丹誠込めて栽培し、その中でも各自で厳選した最高級のりんご125点が出品。創遊館のフォーラムにズラリと並んだその光景は、まさに真っ赤な芸術作品そのもの。りんご特有の甘い香りが館内に広がり、訪れた人々の五感をくすぐっていました。また、JA女性部と町がタイアップして商品化を進めてきた、りんごの花茶「ゆらりんこ」を紹介し、贈答用にぜひどうぞ、と関係者方にPRしていました。

なお、上位(金賞3席まで)の結果は次のとおりです。

▽最優秀賞「山形県知事賞・さがえ西村山農業協同組合長賞・全農山形県本部長賞・山形県共連会長賞」川口好子（大暮山）▽優秀賞「町議会議長賞・町果樹組合連絡会議会長賞・町観光協会長賞・山形県共連会長賞」小林俊一（大沼）▽金賞1席「村山総合支庁長賞・町りんご生産対策協議会長賞・山形県農業共済組合連合会長賞・山形県共連会長賞」白田真喜子（大沼）▽金賞2席「村山農業改良普及センター長賞・山形中央農業共済組合長賞」村山征一（大谷七）▽金賞3席「町農業委員長賞」阿部一郎（夏草） 敬称略

りんごの日制定記念 朝日町りんご消費拡大標語

朝日町りんごの日制定を記念した「朝日町りんご消費拡大標語」の表彰式が行われ、応募総数66点の中から次の作品が選ばれました。

▽最優秀賞／松谷忠和（米沢市）「太陽・自然・おいしさいっぱい朝日町りんご」▽優秀賞／阿部くに（常盤）「朝日町のりんご団んで一家団欒」／福本喜芳（神奈川県川崎市）「待っているあなたに今年も朝日町りんご」 敬称略



まちの話題



①宮宿小学校創立130周年記念式典・学芸会 児童手作りの遊び場完成



貴重な伝統を継承し130年

明治7年11月1日、宮宿学校として現在の福昌寺に開校して以来、現在地への移動に伴う明治20年の改築、児童数の増加に伴う大正12年の増築といった変遷をたどり、今年で130年目を迎えた宮宿小学校（安藤昭郎校長）。それを記念する式典が11月13日、創遊館ホールで盛大に開催されました。

式典の中で安藤校長は「これまで先輩方が築き上げてきた宮宿小の貴重な宝を継承していくと共に、更に発展したものにしていく。朝日町の中心校としての責務を果たしていきます」とあいさつ。5年生による「宮小豊年太鼓」の力強い演奏と、全校児童による手話を交えた「明日に向かって」の合唱で、式典の最後を盛大に締めくくりました。

式典に先立ち行われた記念学芸会では、「一人ひとりが大スターみんな輝け130thフェスタ」と題した名の

とおり、各自の持ち味を活かした演技や歌、演奏などに満員となった客席から大きな拍手が送られました。6年生の松田早季さん（栄町）は「これからも、明るく元気な学校になるよう、みんなで力を合わせて頑張っていきましょう」とあいさつをしました。

11月9日には、153人の児童全員がそれぞれの名前の入った石を利用し、「130」の数字や同校を象徴するカボチャの輪郭をデザインした手作りの遊び場を完成させました。校舎の北側に隣接する敷地内約60平方メートルをコンクリートで固めたもので、校舎内から内履きで使用できるようになっています。

同校PTA環境整備部（佐藤欣治部長）が校舎北側に子どもたちの楽しい遊び場づくりを計画し、県建設業協会西村山支部青年部（富樫浩明部長）の協力を得て実施したもので、授業の合間に、流し込まれたまだ柔らかいコンクリートに一人ずつ自分の手で石を埋め込んだ児童らは、完成を心待ちしていました。

②イプセン先生を囲む研修会



廃校を活用したまちづくりを学ぶ

町内4つの小学校廃校利用についての研修会が11月18日、旧水本小学校で開催されました。当日は、東北芸術工科大学の教授や学生、学区民や役場職員からなる「新しいがっこう設立支援委員会」のメンバー約30人が参加。

初めに現在4校で取り組んでいる活動状況を発表。その後ドイツカッセル大学で地域発展を研究しているイプセン教授から、ヨーロッパの過疎地域におけるまちづくりの取り組み等が紹介されました。

③朝日町町制施行50周年記念事業 第25回朝日町産業まつり



町の特産品がズラリ集結

今年で25回目を迎える朝日町産業まつりが11月13日、14日の両日、創遊館と町民体育館を会場に賑やかに開催されました。年に一度、町内の産業が一堂に会し軒を並べる一大イベント。実行委員長の清野町長によるテープカットが行われまつりが幕を開けました。

創遊館の入口付近には、「朝日町のおいしい農畜産物をいっぱい食べよう！」という地産地消を呼びかける臨時直売所15店が所狭しと並び、箱詰めのりんごや大鍋の芋煮などに長い行列ができていました。体育館前には、これから季節に必要な除雪機の展示やダチョウ肉加工品の販売、今年も参加をいただいた宮城県本吉町による海産物の販売などが、客の目をひいていました。体育館内では、工業製品等の展示を始めダチョウの卵に絵を描くコーナーなどもあり人気を呼んでいました。

会場には、作曲家の杉本憲一さん（東京都在住）から贈られたりんごをテーマにした曲（曲名：りんご娘）が鳴り響き、町独特の産業まつりを醸し出していました。

なお、まつりに合わせて行われた優秀技能者表彰では、次の方がそれぞれ受賞されました。

- 町表彰／▽鈴木佐利（太郎一） 左官工として53年。その間、各種作業主任として、多くの後継者を育成。
- ▽浅井周作（元町） 鉄工及び設備工として40年。その間、各種作業主任として、多くの後継者を育成。
- 朝日町事業振興協議会（菲沢守会長） 表彰／▽峯田貞昭（西原） ▽柴田薰（大滝） ▽長岡武見（太郎一） ▽小関忠男（松原） ▽岡崎兼一（下芦沢） ▽海野義明（能中） ▽鈴木清一（西船渡） 敬称略

⑤豊龍の丘に芝張り隊



自分たちの公園は自分の手で

豊龍の丘に自分たちで芝生を植えようと11月27日、小雨の中町民180人が集まり、芝張り作業に汗を流しました。

朝日分校跡地を公園に整備する工事が現在進められていますが、自分たちの公園は自分たちの手で整備したいと、豊龍の丘整備推進協議会が中心となり芝張り隊を募集したもの。集まった隊員たちは、2,000m²の芝張りと桜の苗木10本の植栽をしました。桜の中には公園のシンボルとなる「エドヒガンザクラ」(白鷹町の県指定天然記念物薬師桜の苗木)も記念植樹されました。

終了後はなめこ汁を味わいながら、来年からの活用に話が弾んでいました。

④ふれあい荘にりんご贈呈



児童とお年寄りが交流

西五百川小（小林道和校長）の3年生21人が12月8日、総合学習の時間に栽培体験を行ない収穫したりんごを特別養護老人ホームふれあい荘に入荘するお年寄り一人ひとりにプレゼントしました。

子どもたちは、「いつまでも元気でネ」「長生きしてください」と書いたメッセージカードを袋詰めしたりんごに添えてお年寄りたちに手渡し、交流を図っていました。お年寄りたちは、もらったりんごを手に深々と頭を下げては、笑顔で応えていました。

海野美里さん（八ツ沼）は、「みんなおいしそうに食べてくれたので良かったです。お話しもできて楽しかったです」と話してくれました。

⑦木製のガードレール設置

区有林の間伐材を利活用

大谷連合区（白田進連合区長）によるガードレール設置作業が11月13日、県道左沢浮島線沿線で行われました。連合区内の区長を始め区会議員ら17人が参加。以前にケガはなかったものの、自転車に乗った小学生が歩道から転落する事故があったことを受けて、連合区がボランティアで実施したものです。

去る5月9日に区有林の間伐を行った際に出た丸太杭を利用。秋葉山交遊館口T字路から秋葉山上り口十字路までの区間（国道から大谷方面に向かって右側の歩道脇）に2m間隔で223本の杭が立てられ、その後、工事用のトラロープが上下に2本しっかりと張られました。事前に県からも土盛りをお願いしたことです。

完成した約440m余りのガードレールを見ながら「ようやく安心して通行できる歩道ができあがりました」と、白田連合区長は胸を撫で下ろしていました。



⑥合格りんご贈呈の会

受験頑張ってくださいね

「4回の台風にも耐えて落ちることのなかったこの合格りんごを飾って、自信を持って勉強してください」。和合小学校（長岡信悦校長）3年生の小さな手から同校を卒業した朝日中学校3年生の手に渡された1個の真っ赤なりんごには、「合格」の2文字がくっきりと浮かび上がっていました。

合格りんご贈呈の会が11月30日和合小学校で行われました。同校の敷地にはりんごの木（品種ふじ）2本が植えられており、総合学習の一環として3年生が栽培方法を体験しているもの。今年で4回目となったこの行事には、今年度受検を控えている中学生7人が参加。「これから寒くなるので風邪をひかないようにして頑張ってください」という小学生の言葉に、「いつものりんごより重く感じます。みなさんの思いがいっぱいに詰まつたりんご。辛い時もこのりんごを見て頑張ります」と応えたのは佐藤和輝さん（小原）。心温まるひと時でした。



まちの話題②

⑧りんごキャンペーン

山形・仙台・東京に朝日の風

朝日町の特産品である「無袋ふじ」りんごの収穫時期にあわせて「朝日町りんごキャンペーン」を開催。11月9日から2日間は山形銀行本店前（山形市七日町）にて、11月16日から2日間は仙台市（山形銀行仙台支店前、勾当台公園）にて、11月25日から2日間はやまがたプラザゆとり都（東京都千代田区）にてそれぞれ賑やかに行われました。このキャンペーンは町の特産品である「ふじ」のPRや消費拡大、朝日町のPRを

目的として開催され、今年で9回目。旬の「ふじ」の試食・販売をはじめ、りんごのプレゼントやJA女性部朝日支部の漬物やりんごジュース、山形朝日オーストリッヂ産業センターのダチョウからつくった特産品、朝日町ワインなどの販売が行われました。

また、やまがたプラザゆとり都のキャンペーンと併せて「女性の集い」が開催され、遠く東京のお客様にも旬の朝日町を満喫していただきました。



⑨第25回女性まつり

意欲旺盛な女性の祭典



女性文化教室で1年間学んできた成果を披露する女性まつりが12月5日、創遊館を会場に開催されました。学習意欲旺盛な女性の方々の祭典とも言えるこの行事。今年度は、初心者のための大正琴をはじめ、リフォーム、着付け、刺し子、踊り、茶道、華道、民謡・歌謡、料理、書道、グラウンドゴルフの11分野、12教室に総勢343人が、それぞれの趣味や特技にあった学習に精力的に取り組みました。

「趣味や特技だからと言っても、発表会となるとちょっとたいへん。でも、この発表会があるからこそ、日々研鑽に励むことができるんですね」と、発表者は一様に満足し笑顔に満ち溢っていました。

⑩つながった！「新明鏡橋」

和合の子どもたちがお手伝い

国道287号線「明鏡橋」の上部工が順調に進み、両岸から張り出していた橋桁が中央部で結合したこと、ようやく橋の全容を目にすることができるようになりました。最後のコンクリートを流し込む作業が11月18日行われ、この貴重な作業を和合小学校（長岡信悦校長）4年生13人が体験しました。足場を組むことなく施工する特殊な工法を採用した工事で、現場を見学に訪れた人はこれまで約1,000人と予想以上の成果に笑顔

を見せる長瀬忠良所長。今回の体験事業も現場を指揮する長瀬所長の計らいで実現したものです。

残された閉合部に設けられた橋幅17.3m×3mの型枠にコンクリートを流し込むもの。橋の結合で一連の工事の節目ともなるこの日の朝は、工事関係者たちも気合いが入っていたとのこと。「大きな橋の真ん中をつなぐ作業なんてもう一生できないと思う」と感想を語ってくれたのは鈴木美穂さん（宿）。



⑪町剣道連盟50周年記念碑除幕式

町誕生と共に歩み続け50年

朝日町誕生と時をほぼ同じにして発足した朝日町剣道連盟。それから今年で50周年を迎えることを記念し、剣道碑建立除幕式が11月28日、関係者ら約60人が参列し大谷の白山神社境内で盛大に行われました。先人が残してくれた組織をこれからも後世に伝えていかなければならぬという趣旨で、このたび記念碑を建立することになったものです。

施工者鈴木昭由さん（大谷三）が防具の面をイメー

ジしてデザインしたという御影石製の記念碑には、「全国剣道連盟が唱える剣道による人間形成のことば」「剣の道は人をつくるみち」と刻まれています。「自己責任をきちんと持てる人間になろう。周囲の人々に感謝する気持ち、尊敬の念を大切にすることは、これまでにもこれからも変わらなく伝えていかなければならないこと」と建立に当たって実行委員長を務めた榎壽太さん（大谷一）は語ってくれました。



みんなのひろば



峯友会会長

長岡好男さん(54歳)

地域いきいき

町のCM制作に初挑戦

大谷第五区 峰友会

「おいしいものいーっぱい」お嫁においでよ・朝日町「今年のやまとたふるさとCM大賞に出品された朝日町の作品の一コマ。毎年工夫を凝らした作品で市町村をPRするこの企画。

今年この作品を制作してくれたのは、大谷五区の壮年層で構成される「峯友会」のみなさんです。

現在、会長を務めているのが長岡好男さん。今回のCM制作にあたっては「時期的に風神祭と重なる準備期間。何もわからない、まさに暗中模索の中、町の見どころが数多い中で、CMのメインテーマを何に据えるかという点が特に苦労した」と話してくれました。

「テーマを決める際、町内のいろいろな場所を巡り、朝日町民でありながら町内の知らないところを知ることができました。たいへん良い経験をしたと思います」と語ってくれたのは、今回の企画に参加した峯友会のみな

さん。「今回の企画のように行行政と一般住民が手を取り合って活動する機会が多くなれば、もつとまちづくりに対しても心を持つようになり、結果として町の活性化につながっていくのではないか」と一地区のことだけではなく、大谷地区全体、さらには朝日町全体の将来や、そのために自分たちがすべきことを熱心に語るその姿は、実にたのもしいものでした。

なお、審査会の模様は、大晦日の午後一時三〇分からYTS（山形テレビ）で再放送されます。



各種大会の成績

(○内数字は順位)

■第25回町ナイター野球大会 (5月24日～9月17日／

朝日中グラウンド)

▽Aクラス①ジャンボリー

(鈴木俊一監督) ②朝日商工

(清野正則監督) ③朝日町職

労(三浦浩一監督)

▽Bクラス①サンダース(佐

竹登喜善監督) ②アップルズ

(大竹史之監督) ③デンジャ

ズ(尾形秀秋監督)

■第31回町民バレー・ボール大会 (11月7日／町民体育館)



- ▽男子の部①フライング(鈴木直幸監督) ②ベストフレンズ(鈴木隆志監督) ③チームKAMIGOU(柴田薫監督)
- ▽女子の部①フライング(伊藤弘美監督) ②朝日クラブ3年(志藤政利監督) ③f i z(阿部貴子監督)

となりのトトロさん

作・ホリイ (168)



今月の新刊

おすすめ本！

- ①山のかぼちゃ運動会
- ②蝶のゆくえ



▼七海と大地のちいさなはたけー春のおくりものー (最上一平) ▼七海と大地のちいさなはたけー夏のきせきー (最上一平) ▼山のかぼちゃ運動会 (最上一平) ▼シナン 上・下 (夢枕 猛) ▼対岸の彼女 (角田光代) ▼覚悟一戦場ジャーナリストの夫と生きた日々ー (橋田幸子) ▼98歳、元気の秘密 (三浦敬三) ▼背広の下の衝動 (新堂冬樹) ▼知りたがりやの猫 (林 真理子)



大谷一
白田征治
久美子さん

11月6日に結婚式を挙げられた、白田征治さん、久美子さんご夫妻をご紹介します。

ご主人の征治さんは、町役場の産業振興課にお勤め。奥様の久美子さんは、宮城県登米郡ご出身です。お二人の出会いは、友人の紹介がきっかけとなり、2年間ほどお付き合いされてゴールインなさったそうです。

新婚旅行は大阪や京都などをまわってきたとのこと。旅行中はたいへん良いお天気で、人力車に乗った眺めが最高に気持ちがよく、とてもいい思い出になったそうです。

「お二人の将来の夢は?」という質問に、「明るく温かい家庭を築いていきたいです。子どもは最低3人くらいはほしいですね」とお互いを見つめ合い確認し合ったお二人。

朝日町の住人となり1ヵ月という久美子さんですが、大谷の印象を「周囲の人は親切な人ばかりで、とっても住みやすいところ」と笑顔で話してくれました。

朝晩めっきりと寒さが増してきたこの季節。温いふとんからなかなか出られない征治さんに「そろそろ起きないと遅れるヨ」と声をかける毎日という久美子さん。今日もほんわか気分で目を覚ます征治さんです。

アイリーリー、ママ
桐野真生著
東京坊ちゃん
林 望著
公園の紙芝居 デパートの食堂 お化け
煙突 チャンバラごっこ トレーラーのバ
ス。 懐かしい事柄が、少年の目を通して
よみがえる。もう一度戻ってみたい幸福な
少年時代を綴るエッセー。

蝶のゆくえ
橋本治著
少年たちに夫を殺された妻、恋愛に振り回される女性、歯車が狂い始めた上流階級。『普通』の人々を通して荒廃した現代を浮かびあがらせる小説集。
なんくるないよ よしもとばなな著
なんてことないよ。どうにかなるさ。
大丈夫だよ。沖縄という場所が、人が
が、言葉が、声もなく声をかけてくる。
沖縄を愛するすべての人に贈る、何か
に感謝したくなる最新小説集。

みなさんからのおたよりでつくるコーナーです。
町に対する意見や要望、提案みなさんの周りでの出来事や話題、日々感じていること、イラスト、質問などお待ちしています。

■あて先／〒990-1442 朝日町大字宮宿1115番地
朝日町役場企画課 協働推進係
(電話：67-2112 ファックス：67-2117)
■Eメール／kikaku@town.asahi.yamagata.jp
■ホームページ／http://www.town.asahi.yamagata.jp

町民の声

新宿団地の地盤構造は 心配ないですか？

なお詳しくは、役場建設課までお問い合わせください。
【建設課】☎67-2115

【工】 事の概要としては、始めに田であつた表土を50センチ剥取り、流用土を重機により転圧しながら盛土を施工しました。その後、山砂利を50～75センチ盛り、20センチ毎締固めにより仕上げています。造成工事完了から三ヶ月の間に造成地盤面の沈下等がないことを確認した上で、専門業者による地盤調査を実施しました。

十二区画を各一箇所ずつ調査した結果、地耐力は全体として一平方メートル当たり3トン以上となつており、一般的な住宅用地（在来軸組工法では同2トン前後）として、適正な造成工事に施工しています。

一世一代の買い物。きちんとした対策が講じられての分譲なのか、どのような構造に埋め立てたのかを説明していただきたいです。ご回答いただけてから購入を考えたいと思います。

【匿名】

朝日町に生まれ育つて 本当に良かった

金 婚祝賀会にお呼ばれして。早五十年。朝日町と共に。そして着物も五十年。着るチャンスもなく、しつけ糸のついたまま。母の笑顔を思い出しながら、折り目を伸ばし手を通しました。

いただいた賀詞の額を見ながら、空気の良い朝日町に生まれ育つて本当に良かったと感謝します。【阿部よしさん(常盤)】

お詫びと訂正

平成16年11月15日発行の広報あさひ町11月号「戸籍のまど」で、「すこやかに」の欄に誤りがありました。正しくは次のとおりとなります。

送橋 渡邊友介 男 淳・圭井子
お詫びして訂正いたします。

あさひまちの宝箱 vol. 13

鈴木瑠衣さん(新宿)の宝「梅の木」と「柿の木」

「あなたの宝はなんですか？」

- ・太い谷沢梅
- ・のっぽの庄内平核なし柿

「だれの宝ですか？」

ひいじいちゃんからじいちゃんに伝わっておかあさんと私に伝わってきてます。

「どこにあるのですか？」

西原の南に続く丘「上の台」にある。

「どんなのがあるのですか？」

・雪が消えると一番初めに花が咲く。甘い香りが風にのって春が来る。

ばあちゃんがカリカリ梅を作ったり、おかあさんがウメボシを教わる。

・夏が来ると柿の木に、セミのぬけがらを見つけてブローチにしてTシャツにつけて遊ぶ。

・秋の終わりには、のっぽの柿の木にはしごをかけてじいちゃんと柿もぎをする。

・ばあちゃんとおかあさんと「干し柿ののれん」を下げるともうすぐもうすぐ冬だ。

「いつ頃からですか？」

私が4才の頃からかしら。

ひいじいちゃんの生まれる前からかも知れない。
(五十嵐武喜 2003.2)



※あさひまち宝さがし実行委員会では、ひきつづき「まちの宝」を募集しています。広報紙の折り込みはがきを利用しご応募ください。あさひまち宝さがし実行委員会



平成16年(2004年)
■11月1日～11月30日届出



すこやかに

区名	出生児氏名	性別	保護者名
小原	鈴木 純可	男	秀浩・康子
四ノ沢	渡辺 天紫	男	章平・知子



おしあわせに

白田 征治 (大谷二)	鈴木 久美子
長岡 司 (大谷四)	渋谷 友紀
阿部 佳孝 (常盤)	星 明美



やすらかに

区名	死亡者氏名	世帯主名
長沼	笹原 きぬゑ	章
大沼	小林 岩男	晴雄
太郎一	長岡 藤夫	たみ子
大町	小松 きぬゑ	公平
栗木沢	遠藤 フジエ	信一
能中	熊谷 さたゑ	本人
前田沢	宮田 きくの	布施二男
常盤	佐竹 國雄	きち
西船渡	鈴木 清英	清一
大谷五	大谷 イチ	信一
下芦沢	岡崎 ツネ子	源吉
宇津野	鈴木 隆治	實
松程	向 東一	秀哉
大暮山	阿部 カツノ	久三
栗木沢	佐久間 源七	進
本町	相座 春雄	八重子
大谷二	櫻井 テルエ	江太郎

人口と世帯数

●平成16年11月30日現在

人口 8,938人(減13人)
男 4,436人(減6人)
女 4,502人(減7人)
世帯数 2,570戸(減1戸)



ジェニファー先生の 英語にチャレンジ

Let it snow!

It is now autumn in Juneau. Autumn is a short season in Juneau. The colors have changed and winter is quickly approaching. The mountains are golden colored and snow will come in a few weeks. In the summertime, Juneau has over 18 hours of sunlight each day. The sun rises at 4 am and sets at about 10 pm. However, in the wintertime, Juneau has only about 7 hours of sunlight. The sun rises at 8:30 am and sets at 3:30 pm. The days are very short.

People are now preparing for wintertime. Bears and other wildlife are now hibernating for the winter. In Alaska during the winter, there is a sense of hibernation for people too.

The average winter temperature in Juneau is from -5°C to 0°C. It is currently about 4°C and is very rainy. The average rainfall in Juneau is 234 cm a year and the average snowfall is about 257 cm every year.

In Juneau many people like to spend time outdoors. They like hiking, camping, hunting, and fishing. There are also many outdoor activities to enjoy during the winter. Many people enjoy skiing and snowboarding. There is a ski slope called "Eaglecrest" in Juneau that is 15 minutes away from town by car. People also go snowshoeing, ice skating, ice climbing, and cross-country skiing in the wintertime.

Winter is the best time to see the aurora in Juneau because the nights are darkest and longest. Long, dark winter nights are good for viewing the aurora when the sky is clear. The aurora is something to look forward to in the winter season.

今、ジュノーは短い秋の季節を 맞えています。紅葉が始まると、冬はすぐにやってきます。森が黄金色に染まった2～3週間後には雪が降ってきます。夏は毎日18時間も太陽が出ています。日の出は午前4時で、日没は午後10時です。冬は7時間しか太陽が出ていません。日の出は午前8時30分で、午後3時30分には日が沈みます。これからの季節、日中がとても短くなります。

人々は今、冬支度をしています。熊や他の野生動物は冬の間冬眠をします。アラスカでは寒さ対策が万全です。ジュノーの冬の平均気温は-5°Cから0°C。今のところは4°Cくらいで、とても雨が多いです。ジュノーの年間の平均降水量は234cmで、平均降雪量は257cmです。



Juneau in the winter

ジュノーの人たちは、アウトドア活動が好きです。ハイキング、キャンプ、狩り、釣り。これらたくさんのアウトドア活動は、冬を楽しむためにもあります。多くの人はスキーやスノーボードを楽しめます。町場から車で15分くらいの所に“イーグルクレスト”と呼ばれているスキーサー場があります。スノーシュー(かんじき)をはいて歩いたり、アイススケートをしたり、冬登山をしたり、クロスカントリースキーをしたりします。

また、冬のジュノーでは、最高のオーロラを見ることができます。それは、夜が真っ暗で長いからです。空が澄んでいる時がオーロラを見るのに良い条件です。オーロラは冬の風物詩とも言えます。



Alaskans call the aurora the "Northern Lights."

第59回県総合美術展覧会



洋画部門奨励賞「最上川縁にりんご故郷」

故佐竹瑞穂先生を師匠に絵画を始めて40年が経ちます。この風景は、元能中と川通のちょうど中間地点辺りの県道から最上川の上流を眺めたところです。朝日町はりんごの町。収穫の時期もいいですが、今頃の季節はまたいいものがあります。西に傾いた太陽の光が水面にキラキラと映えて、とても印象に残ったところを絵にしてみました。この時にしか見られない感動と刺激がたまりません。これからも、町のいいところを絵にしていきたいです。

浅井周作さん（元町）

春夏秋冬

編集後記

今年も残すところ、あと半月余り。月日が過ぎ去るのは本当に早いもので、師走の時期を迎えました。この一年を一文字で振り返る恒例の記事が新聞に掲載されました。「震」や「風」と答える人が多かったとのことです。全国的にはやはり、大きな被害をもたらした「新潟中越地震」や、何度も襲来し日本列島を縦断した「台風」など、自然災害の驚異を思い知られた一年と言えるでしょう。災害の少ない山形県とは言え、明日は我が身。いつ私たちを襲つてくるか予想できない自然灾害。管理体制の充実、また有事の危機備えの大切さを教えられた気分がします。

さて十一月八日、清野隆前町長から鈴木浩幸新町長にタスキーがリレーされました。「人口一万人復活」実現を掲げ、力強くスタートしたところです。力強く发展のために尽くされた。これまで十二年間野町政へんお疲れに前政でした。町長には、これまた長丁場。たいへんお疲れでした。

朝日岳
映える白 まぶしい空に
(はやけん)

